



夫本初歌抄

卷第三

刺
1.765
93-



明
別
番
卷
1765
99

150

史本和欽叔書
三

改頁

△

七

765

衣 緒 通 糸 巾 衣
 裳 綾 機 綾 綫 綱
 袴 錦 櫃 舩 舟
 袋 綿 行 綱 綱
 紐 布 車 繩 奧 梁

雜部 十五
 領



衣 三行方
 帖題

衣の柄の...
 領の...
 文政二年七月...
 衣

氏名 為家



765

下

衣
 領
 前中領
 建永七年...
 衣

三三

久安百首
 日百首
 人志
 或抄中

新古今

新古今
 新古今
 新古今
 新古今

新古今

新古今

新古今

新古今

新古今
 新古今
 新古今
 新古今

新古今

新古今

新古今

新古今
 新古今
 新古今
 新古今

新古今

新古今

新古今

新古今

新古今
 新古今
 新古今
 新古今

新古今

新古今

新古今
 新古今
 新古今
 新古今

新古今

日 12月21日

梅之のしるしと御書に記すに

天仁二年四月廿

日

年 御書に記すに

梅河院の御書

仲実の御書

御書に記すに

御書

御書

入の御書の御書に記すに

日 御書の御書

御書の御書

御書の御書の御書に記すに

日 御書の御書

日

御書の御書の御書に記すに

御書

御書

御書の御書の御書に記すに

御書

御書の御書の御書に記すに

天仁二年四月廿

御書

御書の御書の御書に記すに

日 御書の御書

御書の御書

あはれなるものなるをわらふにむかしうらる人後か
あはれ

歌不和

あはれ

あはれなるものなるをわらふにむかしうらる人後か
あはれ

海人歌

日

あはれなるものなるをわらふにむかしうらる人後か
あはれ

あはれ

あはれ

あはれなるものなるをわらふにむかしうらる人後か
あはれ

日

あはれ

あはれなるものなるをわらふにむかしうらる人後か
あはれ

あはれ

あはれなるものなるをわらふにむかしうらる人後か
あはれ

あはれ

あはれ

あはれなるものなるをわらふにむかしうらる人後か
あはれ

あはれ

あはれなるものなるをわらふにむかしうらる人後か
あはれ

あはれ

あはれ

あはれ

あはれなるものなるをわらふにむかしうらる人後か
あはれ

あはれ

あはれ

あはれなるものなるをわらふにむかしうらる人後か
あはれ

あはれ

あはれ

天^イ 延應元年正月十日中院入左大臣長家并合家

たまの衣

神祇伯部神衣

いづれは海の神衣あらむいづれは海の衣とていふも

衣古部四年たまの衣

中務省の衣

袖衣たるいづれは海の衣とていふもいづれは海

袖の衣

延應元年たまの衣

衣古部四年たまの衣

袖衣たるいづれは海の衣とていふもいづれは海

月の衣

建保三年たまの衣

延應元年たまの衣

あつきの月衣の衣とていふもいづれは海

衣古部四年たまの衣

あつきの月衣の衣とていふもいづれは海

衣古部四年たまの衣

延應元年たまの衣

あつきの月衣の衣とていふもいづれは海

衣古部四年たまの衣

あつきの月衣の衣とていふもいづれは海

衣古部四年たまの衣

あつきの月衣の衣とていふもいづれは海

建永三年七月廿七日合月振書

源の衣をうけたる衣

氏名の衣

源の衣をうけたる衣

源の衣

人衣

源の衣をうけたる衣

源の衣をうけたる衣

源の衣をうけたる衣

源の衣をうけたる衣

源の衣をうけたる衣

源の衣をうけたる衣

源の衣

源の衣をうけたる衣

源の衣

源の衣

源の衣をうけたる衣

源の衣をうけたる衣

源の衣をうけたる衣

源の衣をうけたる衣

源の衣

源の衣をうけたる衣

源の衣をうけたる衣

万二
仲あやのゆかしの衣あふれ
まう院の敷

万二
あつりあつり物づくあやのゆかしの衣あふれ
あまふれ

万二
あまふれ
天仁三年四月神代合意衣あふれ

万二
あまふれ
仲あや

万二
あまふれ
寛元四年十月新衣あふれ

あまふれ

あまふれ

あまふれ
あまふれ

あまふれ

あまふれ

あまふれ
あまふれ

あまふれ
あまふれ

あまふれ
あまふれ



千首弁

民の御事

えそくの御事と申すの御事なればと申す御事なればと申す

中務の御事と申す御事なればと申す御事なればと申す

山崎の御事と申す御事なればと申す御事なればと申す

は船屋の御事と申す御事なればと申す御事なればと申す

やうてと申す御事なればと申す御事なればと申す

福倉右左衛門

すくひの御事と申す御事なればと申す御事なればと申す

えねと申す御事なればと申す御事なればと申す

な月判と申す御事なればと申す御事なればと申す

氷の衣

源仲直

なによりと申す御事なればと申す御事なればと申す

御事なればと申す御事なればと申す御事なればと申す

よと申す御事なればと申す御事なればと申す

中務の御事

あつと申す御事なればと申す御事なればと申す

信玄の御事

あつと申す御事なればと申す御事なればと申す

遠き三杯十首弁

あつと申す御事なればと申す御事なればと申す

二二七

二二五

三二

七年

嘉丸

^万あし〜のしるし〜
Suzuki's (Suzuki)

高田寺合資会社 法橋顯昭

あし〜のしるし〜
あし〜のしるし〜

高田寺合資会社 法橋顯昭

^少あし〜のしるし〜
あし〜のしるし〜

高田寺合資会社 法橋顯昭

あし〜のしるし〜
あし〜のしるし〜

高田寺合資会社 法橋顯昭

あし〜のしるし〜
あし〜のしるし〜

高田寺合資会社 法橋顯昭

あし〜のしるし〜
あし〜のしるし〜

高田寺合資会社 法橋顯昭

高田寺合資会社 法橋顯昭

あし〜のしるし〜
あし〜のしるし〜

高田寺合資会社 法橋顯昭

高田寺合資会社 法橋顯昭

あし〜のしるし〜
あし〜のしるし〜

高田寺合資会社 法橋顯昭

774

みちゆき夜

鎌倉石巻

あまのついでにきつてきつて人の心をなやませぬらん

歌よきあつた夜

人恋

ま一カセ
あまのついでにきつてきつて人の心をなやませぬらん

あまのついでに

日

あまのついでにきつてきつて人の心をなやませぬらん

百首奇

思西の流石

あまのついでにきつてきつて人の心をなやませぬらん

正徳二年百首奇

あまのついでに

中三のみ

あまのついでにきつてきつて人の心をなやませぬらん

建保四年百首奇

あまのついでに

持太の忠信

あまのついでにきつてきつて人の心をなやませぬらん

建保四年百首奇

あまのついでに

光明寺の人の持太

あまのついでにきつてきつて人の心をなやませぬらん

同元年百首奇

あまのついでにきつてきつて人の心をなやませぬらん

あまのついでにきつてきつて人の心をなやませぬらん

あゝのしの夜

後二夜おぼろ

あゝのしの夜 *あゝのしの夜* *あゝのしの夜* *あゝのしの夜*

あゝのしの夜 中

あゝのしの夜 *あゝのしの夜* *あゝのしの夜* *あゝのしの夜*

あゝのしの夜 中

あゝのしの夜

あゝのしの夜

あゝのしの夜 *あゝのしの夜* *あゝのしの夜* *あゝのしの夜*

あゝのしの夜

あゝのしの夜

あゝのしの夜 *あゝのしの夜* *あゝのしの夜* *あゝのしの夜*

あゝのしの夜

△

あゝのしの夜 *あゝのしの夜* *あゝのしの夜* *あゝのしの夜*

あゝのしの夜 中

あゝのしの夜

あゝのしの夜 *あゝのしの夜* *あゝのしの夜* *あゝのしの夜*

あゝのしの夜 中

あゝのしの夜

あゝのしの夜

あゝのしの夜 *あゝのしの夜* *あゝのしの夜* *あゝのしの夜*

あゝのしの夜 中

あゝのしの夜

あゝのしの夜

あゝのしの夜 *あゝのしの夜* *あゝのしの夜* *あゝのしの夜*

あゝのしの夜 中

796

もりの夜

為の夜

〜〜〜〜〜^{二三四七}〜〜〜〜〜

Tom's 夜

夜

〜〜〜〜〜^{二三四七}〜〜〜〜〜

〜〜〜〜〜

Tom's 夜

夜

〜〜〜〜〜^{二三四七}〜〜〜〜〜

〜〜〜〜〜

〜〜〜

前申物〜定家御

〜〜〜〜〜^{二三四七}〜〜〜〜〜

〜〜〜〜〜

〜〜〜〜〜^{二三四七}〜〜〜〜〜

〜〜〜

夜

〜〜〜〜〜^{二三四七}〜〜〜〜〜

〜〜〜

夜

〜〜〜〜〜^{二三四七}〜〜〜〜〜

〜〜〜

夜

〜〜〜〜〜^{二三四七}〜〜〜〜〜

〜〜〜

夜



七

あつらひもふたはみだりて ^{我妹子} なるまゝのさしめしめしめ ^{おん}

久松四百首

都方門院安苑

毎 ^手 日ごとくえんもつりつるあはれ ^我 しのびのこゝろ ^{おん}

遊樂人のきこは ^{えん}

^{夜橋也一貫} 恒言の ^{たま} けふ ^{おん} けふ ^{おん} けふ ^{おん} のねのけふ ^{おん}

幸ね ^{おん} けふ ^{おん} のねの ^{おん} けふ ^{おん} の ^{おん}

けふ ^{おん} の ^{おん} けふ ^{おん} の ^{おん} けふ ^{おん} の ^{おん} けふ ^{おん} の ^{おん}

^{4三三下} 袴 三行分トル

影ふき

ねき菩薩

^ま けふ ^{おん} の ^{おん} けふ ^{おん} の ^{おん} けふ ^{おん} の ^{おん} けふ ^{おん} の ^{おん}

三百一十首

あか

あか ^{おん} の ^{おん} けふ ^{おん} の ^{おん} けふ ^{おん} の ^{おん} けふ ^{おん} の ^{おん}

かた ^{おん} の ^{おん} けふ ^{おん} の ^{おん} けふ ^{おん} の ^{おん}

拾遺 ^{おん}

海 ^{おん} の ^{おん} けふ ^{おん} の ^{おん} けふ ^{おん} の ^{おん} けふ ^{おん} の ^{おん}

^{4三三下} 袋 三行分トル

遊書

おん

あ ^{おん} の ^{おん} けふ ^{おん} の ^{おん} けふ ^{おん} の ^{おん} けふ ^{おん} の ^{おん}

5

あ ^{おん} の ^{おん} けふ ^{おん} の ^{おん} けふ ^{おん} の ^{おん} けふ ^{おん} の ^{おん}

^{4三三下} 紐 細

三行分トル

おん

母之佳十
わがこころに
紐
Suzume no Uchi no
Suzume no Uchi no
Suzume no Uchi no
Suzume no Uchi no

万十
三二日五
Suzume no Uchi no
Suzume no Uchi no
Suzume no Uchi no
Suzume no Uchi no

七高
Suzume no Uchi no
Suzume no Uchi no
Suzume no Uchi no
Suzume no Uchi no

糸足志
Suzume no Uchi no
Suzume no Uchi no
Suzume no Uchi no
Suzume no Uchi no

片紅
Suzume no Uchi no
Suzume no Uchi no
Suzume no Uchi no
Suzume no Uchi no

結後拾五
Suzume no Uchi no
Suzume no Uchi no
Suzume no Uchi no
Suzume no Uchi no

西の院の百首

錦のうた

指の酒のうた

わがこころに
錦
Suzume no Uchi no
Suzume no Uchi no
Suzume no Uchi no
Suzume no Uchi no

日

前中物

わがこころに
Suzume no Uchi no
Suzume no Uchi no
Suzume no Uchi no
Suzume no Uchi no

寛元四年十月孫師會合

くあひのうた

信実のうた

わがこころに
色
Suzume no Uchi no
Suzume no Uchi no
Suzume no Uchi no
Suzume no Uchi no

六指歌

衣笠のうた

あひのうた
新
あひのうた
あひのうた
あひのうた
あひのうた

百首のうた

衣笠のうた

わがやうにうらたへていふのじやうにわが紐

4 第一 (三十一)

三行分トル

わがやうにうらたへていふのじやうにわが紐

わがやうに

わがやうにうらたへていふのじやうにわが紐

わがやうにうらたへていふのじやうにわが紐

わがやうに

わがやうにうらたへていふのじやうにわが紐

わがやうにうらたへていふのじやうにわが紐

わがやうに

其後

わがやうにうらたへていふのじやうにわが紐

正治二年百首

中三の文

わがやうにうらたへていふのじやうにわが紐

寛文四年十條原文各信天翁居

わがやうにうらたへていふのじやうにわが紐

わがやうにうらたへていふのじやうにわが紐

わがやうに

信天翁居

わがやうにうらたへていふのじやうにわが紐

二十首并合卷の第一

わがやうに

洞院抄

Don't see a man in a white coat
雁

白鳥の首

白鳥の首

Don't see a man in a white coat

Don't see a man in a white coat
雁

雁

白鳥の首

Don't see a man in a white coat
雁

白鳥の首

白鳥の首

今もこの世に
雁

雁

白鳥の首

Don't see a man in a white coat
雁

雁

雁

白鳥の首

Don't see a man in a white coat
雁

雁

白鳥の首

雁

白鳥の首

雁

Don't see a man in a white coat
雁

白鳥の首

雁

雁

Don't see a man in a white coat
雁

雁

白鳥の首

雁

白鳥の首

雁

Don't see a man in a white coat
雁

雁

白鳥の首

雁

白鳥の首

雁

Don't see a man in a white coat
雁

雁

白鳥の首

雁

白鳥の首

雁

Don't see a man in a white coat
雁

雁

白鳥の首

雁

白鳥の首

雁

人の身も織りなす
指傳ふまの

新六五
あつた
あつた
あつた
あつた

あつた
あつた
あつた
あつた
あつた

あつた
あつた
あつた
あつた
あつた

あつた
あつた
あつた
あつた
あつた

あつた
あつた
あつた
あつた
あつた

あつた
あつた
あつた
あつた
あつた

あつた
あつた
あつた
あつた
あつた

あつた
あつた
あつた
あつた
あつた

あつた
あつた
あつた
あつた
あつた

あつた
あつた
あつた
あつた
あつた

あつた
あつた
あつた
あつた
あつた

あつた
あつた
あつた
あつた
あつた

あつた
あつた
あつた
あつた
あつた

あつた
あつた
あつた
あつた
あつた

あつた
あつた
あつた
あつた
あつた

花中...
源仲正

久安百首

待雲門虎安鏡

色...
氏德三年二月百首...
氏名由家御

錦...
名傳約在

月...
西...
錦

里...
西...
錦

多...
多...
我

影...
影

影...
影

十...
三行分上

多...
中...

多...
多...

解...
解

多...
多...
多...

信長様御書の中如きしの御事は...

御事

御事

交下限

五五

五五

旋頭

日高麗錦紐

御事

建永平

片

流

明

末

置

増

御事

後

信長様御書の中如きしの御事は...

義安元年八月廿五日

信長様御書

七

御事三行の御事は...

御事

御事三行の御事は...

御事三行の御事は...

御事三行の御事は...

御事三行の御事は...

御事三行の御事は...

御事三行の御事は...

御事

御事

^{町家の} **錦** ¹² 花のちりりきつぬ白のうさぎかきく

布

白布

^{ちり}
ちりちりたつた花のそよぶものほのぼののここのちり

花のちりりきつぬ白のうさぎかきく
源仲正

しるしゅうのうさぎかきく

中務ののちり

柳 ^田 柳のちりりきつぬ白のうさぎかきく

あやのちりりきつぬ白のうさぎかきく

源仲正

あやのちりりきつぬ白のうさぎかきく

花のちりりきつぬ白のうさぎかきく

せ

海河院の時百首
仲実の長

石 ^文 石のちりりきつぬ白のうさぎかきく

花のちりりきつぬ白のうさぎかきく

文治六年の社百首
白雲のちりりきつぬ白のうさぎかきく

花のちりりきつぬ白のうさぎかきく

布

白布

^{後拾遺}
花のちりりきつぬ白のうさぎかきく

花のちりりきつぬ白のうさぎかきく
源仲正

花のちりりきつぬ白のうさぎかきく

大板の布

撞停の布

毎日の布

日 布

日 布

日 布

日 布

日 布

撞停の布

日 布

日 布

撞停の布

日 布

撞停の布

日 布

撞停の布

日 布

撞停の布

日 布

撞停の布

日 布

撞停の布

撞停の布

多幸中

控中納

あつちのあつちよふひて **お** **機** のあつち **お** **機** のあつち **お** **機** のあつち

お機

あつちのあつちよふひて **お** **機** のあつち **お** **機** のあつち **お** **機** のあつち

お機

あつちのあつちよふひて **お** **機** のあつち **お** **機** のあつち **お** **機** のあつち

お機

あつちのあつちよふひて **お** **機** のあつち **お** **機** のあつち **お** **機** のあつち

お機

あつちのあつちよふひて **お** **機** のあつち **お** **機** のあつち **お** **機** のあつち

お機

あつちのあつちよふひて

お機

4 **三行** **かた**

あつちのあつちよふひて **お** **機** のあつち **お** **機** のあつち **お** **機** のあつち

お機

あつち

あつちのあつちよふひて

お機

あつちのあつちよふひて **お** **機** のあつち **お** **機** のあつち **お** **機** のあつち

あつちのあつちよふひて

あつちのあつちよふひて **お** **機** のあつち **お** **機** のあつち **お** **機** のあつち

お機

あつちのあつちよふひて

あつちのあつちよふひて

あつらひの...
けしき...
あつらひ...
あつらひ...

あつらひ...
あつらひ...
あつらひ...
あつらひ...

あつらひ...
あつらひ...
あつらひ...
あつらひ...

あつらひ...
あつらひ...
あつらひ...
あつらひ...

あつらひ...
あつらひ...
あつらひ...
あつらひ...

乙

△

あつらひの...
けしき...
あつらひ...
あつらひ...

あつらひ...
あつらひ...
あつらひ...
あつらひ...

あつらひ...
あつらひ...
あつらひ...
あつらひ...

あつらひ...
あつらひ...
あつらひ...
あつらひ...

あつらひ...
あつらひ...
あつらひ...
あつらひ...

おのてはしつゝいふおのてはしつゝいふ
うらたはしつゝいふおのてはしつゝいふ

わらわら

車 4三三下 三行分トル

百首四首

好まぬは境目

人さうらうさうらうさうらうさうらう
七十一首

傷乾物言

おのてはしつゝいふおのてはしつゝいふ

車

源まの物言

おのてはしつゝいふおのてはしつゝいふ

百首二首毎首一首中 民の由由

おのてはしつゝいふおのてはしつゝいふ

おのてはしつゝいふおのてはしつゝいふ

おのてはしつゝいふおのてはしつゝいふ

十首百首 中車 常中納言

おのてはしつゝいふおのてはしつゝいふ

遠く七首百首八首 日

おのてはしつゝいふおのてはしつゝいふ

百首

常中納言

豊後国... 南... 車

心造二年百首

栄し車

源師光

あつ... 車

と古... 車

か... 車

指宿... 車

年... 車

は揚... 車

十車

源仲... 車

... 車

... 車

... 車

... 車

... 車

... 車

... 車

... 車

... 車

... 車

... 車

... 車

... 車

かゝるすゝあ〜^やん〜^かん〜^たん〜^まん〜^あん〜^んん〜^んん〜^んん〜^んん

は車

日

柴^柴車^車の^のあ^あら^らま^まの^のあ^あら^らま^まの^のあ^あら^らま^ま

ついで二年一書^{ついで二年一書}が^が手^手の^のあ^あら^らま^まの^のあ^あら^らま^ま

かゝるのあ〜^あん〜^んん〜^んん〜^んん〜^んん〜^んん〜^んん

久世の首

花園の長官のあ^あら^らま^ま

あ〜^あら^らま^まの^のあ^あら^らま^まの^のあ^あら^らま^まの^のあ^あら^らま^ま

あはれはあはれ

あはれはあはれ

あ〜^あら^らま^まの^のあ^あら^らま^まの^のあ^あら^らま^まの^のあ^あら^らま^ま

あはれはあはれ

あ〜^あら^らま^まの^のあ^あら^らま^まの^のあ^あら^らま^まの^のあ^あら^らま^ま

あはれはあはれ

日

あ〜^あら^らま^まの^のあ^あら^らま^まの^のあ^あら^らま^まの^のあ^あら^らま^ま

あはれはあはれ

あはれはあはれ

あはれはあはれ

あ〜^あら^らま^まの^のあ^あら^らま^まの^のあ^あら^らま^まの^のあ^あら^らま^ま

あはれはあはれ

あはれはあはれ

あはれはあはれ

あ〜^あら^らま^まの^のあ^あら^らま^まの^のあ^あら^らま^まの^のあ^あら^らま^ま

あはれはあはれ

あはれはあはれ

~~~~~の~~~~~  
~~~~~の~~~~~  
~~~~~の~~~~~  
~~~~~の~~~~~

~~~~~  
~~~~~

~~~~~

~~~~~  
~~~~~  
~~~~~

~~~~~

~~~~~  
~~~~~  
~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~  
~~~~~  
~~~~~

~~~~~

~~~~~  
~~~~~  
~~~~~

~~~~~

~~~~~  
~~~~~  
~~~~~

~~~~~

~~~~~  
~~~~~  
~~~~~

~~~~~

~~~~~  
~~~~~  
~~~~~



多穂の曉よるれの音由らみかきて

前も存正なり

<sup>ほと</sup>ほと <sup>ほ</sup>ほ <sup>ほ</sup>ほ <sup>ほ</sup>ほ <sup>ほ</sup>ほ <sup>ほ</sup>ほ

<sup>4三ツカ</sup>4三ツカ <sup>行分トハ</sup>行分トハ

定信初代あるより十四に後かうは

結本

あらしにいとらるる浪のよるほそ <sup>暮</sup>暮 <sup>あ</sup>あ <sup>あ</sup>あ <sup>あ</sup>あ

久要百首

信望の院書

とる世海にすらくるものあへる <sup>あ</sup>あ <sup>あ</sup>あ <sup>あ</sup>あ <sup>あ</sup>あ <sup>あ</sup>あ

四五五

ほれあふんたけ

<sup>お</sup>お <sup>お</sup>お <sup>お</sup>お <sup>お</sup>お <sup>お</sup>お <sup>お</sup>お

格中歌法百首

日

よるるのいそよそ <sup>お</sup>お <sup>お</sup>お <sup>お</sup>お <sup>お</sup>お

あまのあはれも <sup>あ</sup>あ <sup>あ</sup>あ <sup>あ</sup>あ <sup>あ</sup>あ <sup>あ</sup>あ

なま

吉野 <sup>あ</sup>あ <sup>あ</sup>あ <sup>あ</sup>あ <sup>あ</sup>あ <sup>あ</sup>あ

あまのあはれも

後代 <sup>な</sup>な <sup>な</sup>な <sup>な</sup>な <sup>な</sup>な

あはれ <sup>あ</sup>あ <sup>あ</sup>あ <sup>あ</sup>あ <sup>あ</sup>あ <sup>あ</sup>あ

新古今中

<sup>万代維三</sup>万代維三 <sup>あ</sup>あ <sup>あ</sup>あ <sup>あ</sup>あ <sup>あ</sup>あ <sup>あ</sup>あ

<sup>あ</sup>あ <sup>あ</sup>あ <sup>あ</sup>あ <sup>あ</sup>あ



わたくしはもうおぼろげな老翁の如きものにて

年々衰へてゆくは可哀なる事にて

尤も御座り申候所は御座り申候所にて  
老翁の如きものにて老翁の如きものにて  
御座り申候所は御座り申候所にて

老翁の如きものにて老翁の如きものにて  
御座り申候所は御座り申候所にて

老翁の如きものにて老翁の如きものにて  
御座り申候所は御座り申候所にて

~~のりのりたる  
あはれなり  
前記の如しと  
しげき  
上げて  
けし~~

向う

三行分トル

中納言 藤原 清成

御座り申候所は御座り申候所にて

屏府 清成

御座り申候所

御座り申候所は御座り申候所にて

延長 清成

御座り申候所

御座り申候所は御座り申候所にて

秋拾遺二

797

日吉二年二月三日之御事合言に

徳吉

あつらひに<sup>牛</sup>あつらひに<sup>牛</sup>あつらひに<sup>牛</sup>あつらひに<sup>牛</sup>あつらひに<sup>牛</sup>

あつらひに<sup>牛</sup>あつらひに<sup>牛</sup>あつらひに<sup>牛</sup>

伊勢集

あつらひに<sup>牛</sup>あつらひに<sup>牛</sup>あつらひに<sup>牛</sup>あつらひに<sup>牛</sup>あつらひに<sup>牛</sup>

あつらひに<sup>牛</sup>あつらひに<sup>牛</sup>あつらひに<sup>牛</sup>

あつらひに<sup>牛</sup>あつらひに<sup>牛</sup>あつらひに<sup>牛</sup>あつらひに<sup>牛</sup>あつらひに<sup>牛</sup>

あつらひに<sup>牛</sup>あつらひに<sup>牛</sup>あつらひに<sup>牛</sup>

あつらひに<sup>牛</sup>あつらひに<sup>牛</sup>あつらひに<sup>牛</sup>あつらひに<sup>牛</sup>あつらひに<sup>牛</sup>

あつらひに<sup>牛</sup>あつらひに<sup>牛</sup>あつらひに<sup>牛</sup>

△

月夜に<sup>牛</sup>あつらひに<sup>牛</sup>あつらひに<sup>牛</sup>あつらひに<sup>牛</sup>あつらひに<sup>牛</sup>

あつらひに<sup>牛</sup>あつらひに<sup>牛</sup>あつらひに<sup>牛</sup>

あつらひに<sup>牛</sup>あつらひに<sup>牛</sup>あつらひに<sup>牛</sup>あつらひに<sup>牛</sup>あつらひに<sup>牛</sup>

あつらひに<sup>牛</sup>あつらひに<sup>牛</sup>あつらひに<sup>牛</sup>

あつらひに<sup>牛</sup>あつらひに<sup>牛</sup>あつらひに<sup>牛</sup>あつらひに<sup>牛</sup>あつらひに<sup>牛</sup>

あつらひに<sup>牛</sup>あつらひに<sup>牛</sup>あつらひに<sup>牛</sup>

あつらひに<sup>牛</sup>あつらひに<sup>牛</sup>あつらひに<sup>牛</sup>あつらひに<sup>牛</sup>あつらひに<sup>牛</sup>

あつらひに<sup>牛</sup>あつらひに<sup>牛</sup>あつらひに<sup>牛</sup>

あつらひに<sup>牛</sup>あつらひに<sup>牛</sup>あつらひに<sup>牛</sup>あつらひに<sup>牛</sup>あつらひに<sup>牛</sup>

あつらひに<sup>牛</sup>あつらひに<sup>牛</sup>あつらひに<sup>牛</sup>

498

夕陽の歌

難波の舟はすすむ世のつすまにせりしむらぬらむと

此の三年百首の中 後九首の古

又白くす <sup>やまもと</sup> 舟とゆへ <sup>やみ</sup> 舟のつら <sup>て</sup> づら <sup>は</sup> 舟のつら <sup>たり</sup>

百首八首歌の中 前中納言の古

~~~~~ 舟の色は浪の <sup>うね</sup> 舟の色は浪の <sup>うね</sup>

舟揚る舟のなみは ^舟 舟のなみは ^舟

あられ ^は 舟の ^な 舟の ^な 舟の ^な 舟の ^な

舟揚る舟の中 ^舟 舟の中 ^舟

~~~~~ 舟の <sup>な</sup> 舟の <sup>な</sup> 舟の <sup>な</sup> 舟の <sup>な</sup>

舟揚る舟の中 <sup>舟</sup> 舟の中 <sup>舟</sup>

~~~~~ 舟の <sup>な</sup> 舟の <sup>な</sup> 舟の <sup>な</sup> 舟の <sup>な</sup>

千首中

舟の中 ^舟

~~~~~ 舟の <sup>な</sup> 舟の <sup>な</sup> 舟の <sup>な</sup> 舟の <sup>な</sup>

舟揚る舟の中 <sup>舟</sup> 舟の中 <sup>舟</sup>

~~~~~ 舟の <sup>な</sup> 舟の <sup>な</sup> 舟の <sup>な</sup> 舟の <sup>な</sup>

舟揚る舟の中 ^舟 舟の中 ^舟

舟の中 ^舟

~~~~~ 舟の <sup>な</sup> 舟の <sup>な</sup> 舟の <sup>な</sup> 舟の <sup>な</sup>

舟揚る舟の中 <sup>舟</sup> 舟の中 <sup>舟</sup>

舟の中 <sup>舟</sup>





Handwritten notes in cursive, starting with a red mark and the characters '後拾春下'.

Handwritten notes in cursive, including the characters '春' and '下'.

Handwritten notes in cursive, circled in red.

Handwritten notes in cursive.

Handwritten notes in cursive.

Handwritten notes in cursive, including the characters '分' and '下'.

Handwritten notes in cursive.

Handwritten mark at the bottom of the page.

Handwritten notes in cursive, including the characters '春' and '下'.

Handwritten notes in cursive, circled in red.

Handwritten notes in cursive.

Handwritten notes in cursive, including the characters '春' and '下'.

Handwritten notes in cursive, circled in red.

Handwritten notes in cursive.

Handwritten notes in cursive, including the characters '春' and '下'.

Handwritten notes in cursive.

Handwritten notes in cursive, including the characters '春' and '下'.

Handwritten notes in cursive.



日 ち ち

仲 子 文 船 長

あさけりむ *あさ* *けり* *む* *あ* *さ* *け* *り* *む*

船 長 的 船 仲 子

*あ* *さ* *け* *り* *む* *あ* *さ* *け* *り* *む* *あ* *さ* *け* *り* *む*

船 長 的 船 仲 子

*あ* *さ* *け* *り* *む* *あ* *さ* *け* *り* *む*

*あ* *さ* *け* *り* *む* *あ* *さ* *け* *り* *む* *あ* *さ* *け* *り* *む*

浪

*あ* *さ* *け* *り* *む* *あ* *さ* *け* *り* *む* *あ* *さ* *け* *り* *む*

日 ち ち

*あ* *さ* *け* *り* *む* *あ* *さ* *け* *り* *む* *あ* *さ* *け* *り* *む*

仲 子 文 船 長

*あ* *さ* *け* *り* *む* *あ* *さ* *け* *り* *む* *あ* *さ* *け* *り* *む*

*あ* *さ* *け* *り* *む* *あ* *さ* *け* *り* *む* *あ* *さ* *け* *り* *む*

仲 子 文 船 長

連 保 年 平 ち ち 百 首 翁

*あ* *さ* *け* *り* *む* *あ* *さ* *け* *り* *む* *あ* *さ* *け* *り* *む*

仲 子 文 船 長

*あ* *さ* *け* *り* *む* *あ* *さ* *け* *り* *む* *あ* *さ* *け* *り* *む*

朝

連 保 年 平 ち ち 百 首 翁

*あ* *さ* *け* *り* *む* *あ* *さ* *け* *り* *む* *あ* *さ* *け* *り* *む*





花の池 *花の池*

花の池 *花の池*

花の池 *花の池*

花の池 *花の池*

花の池 *花の池*

花の池 *花の池*

花の池 *花の池*

花の池 *花の池*

花の池 *花の池*

花の池 *花の池*

花の池 *花の池*

花の池 *花の池*

花の池 *花の池*

花の池 *花の池*

花の池 *花の池*

花の池 *花の池*

花の池 *花の池*

花の池 *花の池*

花の池 *花の池*

花の池 *花の池*

花の池 *花の池*

花の池 *花の池*

花の池 *花の池*

花の池 *花の池*

花の池 *花の池*

花の池 *花の池*

花の池 *花の池*

花の池 *花の池*



808

うんた <sup>1</sup> ~~うんた~~ <sup>2</sup> ~~うんた~~ <sup>3</sup> ~~うんた~~ <sup>4</sup> ~~うんた~~ <sup>5</sup> ~~うんた~~ <sup>6</sup> ~~うんた~~ <sup>7</sup> ~~うんた~~ <sup>8</sup> ~~うんた~~ <sup>9</sup> ~~うんた~~ <sup>10</sup> ~~うんた~~ <sup>11</sup> ~~うんた~~ <sup>12</sup> ~~うんた~~ <sup>13</sup> ~~うんた~~ <sup>14</sup> ~~うんた~~ <sup>15</sup> ~~うんた~~ <sup>16</sup> ~~うんた~~ <sup>17</sup> ~~うんた~~ <sup>18</sup> ~~うんた~~ <sup>19</sup> ~~うんた~~ <sup>20</sup> ~~うんた~~ <sup>21</sup> ~~うんた~~ <sup>22</sup> ~~うんた~~ <sup>23</sup> ~~うんた~~ <sup>24</sup> ~~うんた~~ <sup>25</sup> ~~うんた~~ <sup>26</sup> ~~うんた~~ <sup>27</sup> ~~うんた~~ <sup>28</sup> ~~うんた~~ <sup>29</sup> ~~うんた~~ <sup>30</sup> ~~うんた~~ <sup>31</sup> ~~うんた~~ <sup>32</sup> ~~うんた~~ <sup>33</sup> ~~うんた~~ <sup>34</sup> ~~うんた~~ <sup>35</sup> ~~うんた~~ <sup>36</sup> ~~うんた~~ <sup>37</sup> ~~うんた~~ <sup>38</sup> ~~うんた~~ <sup>39</sup> ~~うんた~~ <sup>40</sup> ~~うんた~~ <sup>41</sup> ~~うんた~~ <sup>42</sup> ~~うんた~~ <sup>43</sup> ~~うんた~~ <sup>44</sup> ~~うんた~~ <sup>45</sup> ~~うんた~~ <sup>46</sup> ~~うんた~~ <sup>47</sup> ~~うんた~~ <sup>48</sup> ~~うんた~~ <sup>49</sup> ~~うんた~~ <sup>50</sup> ~~うんた~~ <sup>51</sup> ~~うんた~~ <sup>52</sup> ~~うんた~~ <sup>53</sup> ~~うんた~~ <sup>54</sup> ~~うんた~~ <sup>55</sup> ~~うんた~~ <sup>56</sup> ~~うんた~~ <sup>57</sup> ~~うんた~~ <sup>58</sup> ~~うんた~~ <sup>59</sup> ~~うんた~~ <sup>60</sup> ~~うんた~~ <sup>61</sup> ~~うんた~~ <sup>62</sup> ~~うんた~~ <sup>63</sup> ~~うんた~~ <sup>64</sup> ~~うんた~~ <sup>65</sup> ~~うんた~~ <sup>66</sup> ~~うんた~~ <sup>67</sup> ~~うんた~~ <sup>68</sup> ~~うんた~~ <sup>69</sup> ~~うんた~~ <sup>70</sup> ~~うんた~~ <sup>71</sup> ~~うんた~~ <sup>72</sup> ~~うんた~~ <sup>73</sup> ~~うんた~~ <sup>74</sup> ~~うんた~~ <sup>75</sup> ~~うんた~~ <sup>76</sup> ~~うんた~~ <sup>77</sup> ~~うんた~~ <sup>78</sup> ~~うんた~~ <sup>79</sup> ~~うんた~~ <sup>80</sup> ~~うんた~~ <sup>81</sup> ~~うんた~~ <sup>82</sup> ~~うんた~~ <sup>83</sup> ~~うんた~~ <sup>84</sup> ~~うんた~~ <sup>85</sup> ~~うんた~~ <sup>86</sup> ~~うんた~~ <sup>87</sup> ~~うんた~~ <sup>88</sup> ~~うんた~~ <sup>89</sup> ~~うんた~~ <sup>90</sup> ~~うんた~~ <sup>91</sup> ~~うんた~~ <sup>92</sup> ~~うんた~~ <sup>93</sup> ~~うんた~~ <sup>94</sup> ~~うんた~~ <sup>95</sup> ~~うんた~~ <sup>96</sup> ~~うんた~~ <sup>97</sup> ~~うんた~~ <sup>98</sup> ~~うんた~~ <sup>99</sup> ~~うんた~~ <sup>100</sup> ~~うんた~~

うんた <sup>1</sup> ~~うんた~~ <sup>2</sup> ~~うんた~~ <sup>3</sup> ~~うんた~~ <sup>4</sup> ~~うんた~~ <sup>5</sup> ~~うんた~~ <sup>6</sup> ~~うんた~~ <sup>7</sup> ~~うんた~~ <sup>8</sup> ~~うんた~~ <sup>9</sup> ~~うんた~~ <sup>10</sup> ~~うんた~~ <sup>11</sup> ~~うんた~~ <sup>12</sup> ~~うんた~~ <sup>13</sup> ~~うんた~~ <sup>14</sup> ~~うんた~~ <sup>15</sup> ~~うんた~~ <sup>16</sup> ~~うんた~~ <sup>17</sup> ~~うんた~~ <sup>18</sup> ~~うんた~~ <sup>19</sup> ~~うんた~~ <sup>20</sup> ~~うんた~~ <sup>21</sup> ~~うんた~~ <sup>22</sup> ~~うんた~~ <sup>23</sup> ~~うんた~~ <sup>24</sup> ~~うんた~~ <sup>25</sup> ~~うんた~~ <sup>26</sup> ~~うんた~~ <sup>27</sup> ~~うんた~~ <sup>28</sup> ~~うんた~~ <sup>29</sup> ~~うんた~~ <sup>30</sup> ~~うんた~~ <sup>31</sup> ~~うんた~~ <sup>32</sup> ~~うんた~~ <sup>33</sup> ~~うんた~~ <sup>34</sup> ~~うんた~~ <sup>35</sup> ~~うんた~~ <sup>36</sup> ~~うんた~~ <sup>37</sup> ~~うんた~~ <sup>38</sup> ~~うんた~~ <sup>39</sup> ~~うんた~~ <sup>40</sup> ~~うんた~~ <sup>41</sup> ~~うんた~~ <sup>42</sup> ~~うんた~~ <sup>43</sup> ~~うんた~~ <sup>44</sup> ~~うんた~~ <sup>45</sup> ~~うんた~~ <sup>46</sup> ~~うんた~~ <sup>47</sup> ~~うんた~~ <sup>48</sup> ~~うんた~~ <sup>49</sup> ~~うんた~~ <sup>50</sup> ~~うんた~~ <sup>51</sup> ~~うんた~~ <sup>52</sup> ~~うんた~~ <sup>53</sup> ~~うんた~~ <sup>54</sup> ~~うんた~~ <sup>55</sup> ~~うんた~~ <sup>56</sup> ~~うんた~~ <sup>57</sup> ~~うんた~~ <sup>58</sup> ~~うんた~~ <sup>59</sup> ~~うんた~~ <sup>60</sup> ~~うんた~~ <sup>61</sup> ~~うんた~~ <sup>62</sup> ~~うんた~~ <sup>63</sup> ~~うんた~~ <sup>64</sup> ~~うんた~~ <sup>65</sup> ~~うんた~~ <sup>66</sup> ~~うんた~~ <sup>67</sup> ~~うんた~~ <sup>68</sup> ~~うんた~~ <sup>69</sup> ~~うんた~~ <sup>70</sup> ~~うんた~~ <sup>71</sup> ~~うんた~~ <sup>72</sup> ~~うんた~~ <sup>73</sup> ~~うんた~~ <sup>74</sup> ~~うんた~~ <sup>75</sup> ~~うんた~~ <sup>76</sup> ~~うんた~~ <sup>77</sup> ~~うんた~~ <sup>78</sup> ~~うんた~~ <sup>79</sup> ~~うんた~~ <sup>80</sup> ~~うんた~~ <sup>81</sup> ~~うんた~~ <sup>82</sup> ~~うんた~~ <sup>83</sup> ~~うんた~~ <sup>84</sup> ~~うんた~~ <sup>85</sup> ~~うんた~~ <sup>86</sup> ~~うんた~~ <sup>87</sup> ~~うんた~~ <sup>88</sup> ~~うんた~~ <sup>89</sup> ~~うんた~~ <sup>90</sup> ~~うんた~~ <sup>91</sup> ~~うんた~~ <sup>92</sup> ~~うんた~~ <sup>93</sup> ~~うんた~~ <sup>94</sup> ~~うんた~~ <sup>95</sup> ~~うんた~~ <sup>96</sup> ~~うんた~~ <sup>97</sup> ~~うんた~~ <sup>98</sup> ~~うんた~~ <sup>99</sup> ~~うんた~~ <sup>100</sup> ~~うんた~~

日 紅葉  
 持律師 斎藤 泰三 謹言

新設社行会約書  
 泰三 謹言

日 <sup>う</sup> <sup>い</sup> <sup>か</sup>  
あまのついでに <sup>あ</sup>  
あまのついでに <sup>あ</sup>  
あまのついでに <sup>あ</sup>  
あまのついでに <sup>あ</sup>

<sup>あ</sup>  
あまのついでに <sup>あ</sup>  
あまのついでに <sup>あ</sup>  
あまのついでに <sup>あ</sup>  
あまのついでに <sup>あ</sup>

あまのついでに <sup>あ</sup>  
あまのついでに <sup>あ</sup>  
あまのついでに <sup>あ</sup>  
あまのついでに <sup>あ</sup>

あまのついでに <sup>あ</sup>  
あまのついでに <sup>あ</sup>  
あまのついでに <sup>あ</sup>  
あまのついでに <sup>あ</sup>

あまのついでに <sup>あ</sup>  
あまのついでに <sup>あ</sup>  
あまのついでに <sup>あ</sup>  
あまのついでに <sup>あ</sup>

あまのついでに <sup>あ</sup>  
あまのついでに <sup>あ</sup>  
あまのついでに <sup>あ</sup>  
あまのついでに <sup>あ</sup>

あまのついでに <sup>あ</sup>  
あまのついでに <sup>あ</sup>  
あまのついでに <sup>あ</sup>  
あまのついでに <sup>あ</sup>

あまのついでに <sup>あ</sup>  
あまのついでに <sup>あ</sup>  
あまのついでに <sup>あ</sup>  
あまのついでに <sup>あ</sup>







海川院浄土百首

後拾遺集

難波のしほのさかき <sup>あ</sup>のさかき <sup>あ</sup>のさかき <sup>あ</sup>のさかき <sup>あ</sup>のさかき

歌集

人

しほのさかき <sup>あ</sup>のさかき <sup>あ</sup>のさかき <sup>あ</sup>のさかき <sup>あ</sup>のさかき

新古今 <sup>あ</sup>のさかき <sup>あ</sup>のさかき <sup>あ</sup>のさかき <sup>あ</sup>のさかき

しほのさかき <sup>あ</sup>のさかき <sup>あ</sup>のさかき <sup>あ</sup>のさかき <sup>あ</sup>のさかき

ちのさかき

隆法

しほのさかき <sup>あ</sup>のさかき <sup>あ</sup>のさかき <sup>あ</sup>のさかき <sup>あ</sup>のさかき

百首

しほのさかき

隆法

しほのさかき <sup>あ</sup>のさかき <sup>あ</sup>のさかき <sup>あ</sup>のさかき <sup>あ</sup>のさかき

新古今 <sup>あ</sup>のさかき <sup>あ</sup>のさかき <sup>あ</sup>のさかき <sup>あ</sup>のさかき

しほのさかき <sup>あ</sup>のさかき <sup>あ</sup>のさかき <sup>あ</sup>のさかき <sup>あ</sup>のさかき

建保

しほのさかき

隆法

しほのさかき <sup>あ</sup>のさかき <sup>あ</sup>のさかき <sup>あ</sup>のさかき <sup>あ</sup>のさかき

建保

しほのさかき

隆法

しほのさかき <sup>あ</sup>のさかき <sup>あ</sup>のさかき <sup>あ</sup>のさかき <sup>あ</sup>のさかき

洞院 <sup>あ</sup>のさかき <sup>あ</sup>のさかき <sup>あ</sup>のさかき <sup>あ</sup>のさかき



宗匠の徳

師の徳あり

大徳に雅あり

今 <sup>け</sup> 師の徳の并に <sup>え</sup> 徳に思ひ <sup>つ</sup> 徳に <sup>あ</sup> り

子又百首并合

師又百首并合

又并 <sup>せ</sup> 師の徳に <sup>あ</sup> り <sup>あ</sup> り <sup>あ</sup> り <sup>あ</sup> り <sup>あ</sup> り <sup>あ</sup> り <sup>あ</sup> り <sup>あ</sup> り

徳意は師の并に <sup>に</sup> 徳に <sup>あ</sup> り <sup>あ</sup> り <sup>あ</sup> り <sup>あ</sup> り

と徳歌

徳意門院大徳

ら <sup>あ</sup> り <sup>あ</sup> り <sup>あ</sup> り <sup>あ</sup> り <sup>あ</sup> り <sup>あ</sup> り <sup>あ</sup> り <sup>あ</sup> り <sup>あ</sup> り

と徳歌

徳意門院大徳

ら <sup>あ</sup> り <sup>あ</sup> り <sup>あ</sup> り <sup>あ</sup> り <sup>あ</sup> り <sup>あ</sup> り <sup>あ</sup> り <sup>あ</sup> り

建徳元年百首并合

ち <sup>あ</sup> り <sup>あ</sup> り <sup>あ</sup> り <sup>あ</sup> り

は九条門大徳

え <sup>あ</sup> り <sup>あ</sup> り <sup>あ</sup> り <sup>あ</sup> り <sup>あ</sup> り <sup>あ</sup> り <sup>あ</sup> り <sup>あ</sup> り

と徳歌 <sup>あ</sup> り <sup>あ</sup> り <sup>あ</sup> り <sup>あ</sup> り

民名由徳歌

あ <sup>あ</sup> り <sup>あ</sup> り <sup>あ</sup> り <sup>あ</sup> り <sup>あ</sup> り <sup>あ</sup> り <sup>あ</sup> り <sup>あ</sup> り

緒 <sup>あ</sup> り <sup>あ</sup> り <sup>あ</sup> り <sup>あ</sup> り

徳意門院大徳

百首并合

と徳歌

徳意門院大徳

曰 <sup>あ</sup> り <sup>あ</sup> り <sup>あ</sup> り <sup>あ</sup> り <sup>あ</sup> り <sup>あ</sup> り <sup>あ</sup> り <sup>あ</sup> り

と徳歌

日

314

Sp...  
延書  
日  
成る内家

延書  
の...の...  
延書  
後二位...  
延書

人...  
延書  
自承元年...  
延書  
延書

4  
網  
延書  
建保三年...  
延書  
延書

延書  
浦  
延書  
延書  
延書

延書  
延書  
延書  
延書

延書  
延書  
延書  
延書

延書  
延書  
延書  
延書

延書  
延書  
延書  
延書



わが國の海に引く海

海に引く

海に引く海に引く海に引く

海に引く海に引く

海に引く

海に引く海に引く

海に引く

海に引く海に引く

海に引く

海に引く海に引く

海に引く

海に引く海に引く

海に引く

海に引く海に引く

海に引く

海に引く海に引く

海に引く

海に引く海に引く

海に引く

海に引く海に引く

海に引く

317

4三下  
三行方十ル

建保三年冬百首

後日記  
河原のほとけ

河院橋

河原のほとけ

河院橋

河原のほとけ

河原のほとけ

河原のほとけ

河原のほとけ

河原のほとけ

河原のほとけ

河原のほとけ

河原のほとけ

河原のほとけ

河原のほとけ

河原のほとけ

河原のほとけ

河原のほとけ

河原のほとけ



お月夜に  
三首  
好忠  
梁  
に

天木新歌抄卷第三十三  
終

